

安全と施工レベルアップのための

ルールブック



改定 平成22年2月28日

兼 雇入教育本

株式会社 ケーワンシステム

－ 目 次 －

第 1 章	主 旨	1P
第 2 章	日々の安全	2P～3P
第 3 章	基本的なルール	4P
第 4 章	施工上のルール	5P～8P
付 録	各部材の間隙	9P

第1章 主 旨

このルールブックは、皆さんと共に、安全と施工のレベルアップを行なうために作成するものです。

ですから、常に皆さんの意向を取り入れてより良いものに更新していきたいと考えます。



私達は『規則』を守り、『安全』と『品質』向上に努め、
『クレーム』には謙虚に対応し、『やりがい』のある仕事
から、『レベルアップ』を図ります。

第2章 日々の安全

1

KY活動への参加

自分の身を守るためのもので、誰のためのものでもありません！
積極的に取り組みましょう。

■ **KY活動を必ず行なってから作業を開始して下さい！**

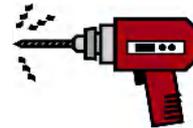
2

朝礼への参加

朝礼には、『安全靴・ヘルメット・安全帯』を必ず着用すること！
現場監督は、具合の悪そうな人がいないか朝礼時に皆さんを観察しています。
朝礼時は、真剣な態度で臨んでいただき、腕組みをしたりポケットに手を入れたりという不謹慎な態度はやめてください。

3

電動工具は、すべて**3芯**をお願いします。



4

休憩中、または使用していない工具は、電動工具のコードを抜いて下さい。

5

安全帯・安全靴・ヘルメットの着用をお願いします。

- * 現場の規則にもよりますが、一人の不安全行動で全員に迷惑が掛かります。
真剣に気を遣って下さい！！
- * 防護メガネ+防塵マスクも必要！



6

労災への加入が無い方は、現場への入場はできません。

* 必ず加入をお願いします。



7

毎年 6月初めに健康診断を行なっています。

* 受診されていない方は会社に申し出て、必ず受診して下さい。



8

道路では、信号を守り横断歩道を渡りましょう。

常に、誰かから見られていると考えて下さい。

9

路上駐車はやめて下さい。

10

通勤途中も、事故になれば『**労災**』となります。

現場や会社で**その責任を負わなくてはならない**のです。
『朝、家を出たときから帰宅するまでの間が勤務中』
という認識をお願いします。



11

飲酒運転は絶対に禁止です。

家族と仲間を無くさないよう、意識を変えるべきです。



第3章 基本的なルール

1

『遅刻・早退・欠勤』は、職長または会社に連絡を行なう。

↳ 必要とされていない人は一人もいません！
誰かがいないと、誰かが困るのです。



厳守！

2

現場への出入りは必ず職長または会社に連絡を行なう。

↳ 現場での事故・怪我等一切の責任は会社にあります。
無断での出入りに、会社が責任を取れるはずがありません！

厳守！

3

職長は大変な仕事です！ ～ 皆さんの協力が必要です！！

(役割) 各職方との パイプ役 及び 安全管理
監督との パイプ役
会社との ～



- * 職長は、皆さんの安全と仕事がスムーズに行なえるよう、
見えないところで日々苦勞しています。
- * 職長の指示 = 会社の指示です。
 - 守れない場合は、職長の権限により退場させる場合もあります。
全員が職長に協力するようにして下さい。

4

清掃 ～ 帰りがけの清掃だけではダメ！

ウレタンの切欠き屑や剥離紙など、常に少しずつの清掃を心掛けて下さい。作業終了後の一括清掃だけではいけません！現場には、いろんな人たちが様子を見に来ます。常にきれいな作業場を確保するよう心掛けて下さい。



第4章 施工上のルール

1

加工場所では、必ず養生シートを敷いて下さい。

厳守！

2

ウレタンの切欠は、専用工具（55φ）を使用して下さい。

- a) この専用工具を用いることにより、断熱欠損率を最低限に抑えるということで、得意先よりウレタンの補修を免除して頂いております。もし、使用していないのが見つかり、全面ウレタン補修を要求される場合がありますので、**厳重注意が必要です！**
- b) 最初の1個は会社から支給しますが、2個目からは各自で購入して下さい。
ジョイフルエーカー・ホームックなどで1,600円程度で販売しています。



3

出入隅部のシステムネダは、必ず耳を100mm程度落としてボルト部分が隅(角)にくるよう施工して下さい。 *片側のみ

- a) 特に入隅の部分で、床が沈んで床鳴りするケースが見受けられます。
- b) 支持脚でもOKです。



4

ユニットバス出入口や一般の出入口部には、支持脚の補強を入れて下さい。

3本ネダがある場合にはそれを使用して、無い場合にはWP支持脚にて補強を行って下さい。

- a) 床の沈み込みによって、下地以外の部分で床鳴りを発生させます。
- b) Rネダ □-40×50の場合には補強支持脚は必要ありません。



5

床下にゴミが隠れていませんか？ ウレタンの切屑や、ビス、パネル切断の粉など、パネル敷き込み前に必ずチェックをしましょう。

- a) 剥がして、やり直した例があります。



6

ブロックとパーティクルは、専用コースレッドを使用して下さい。（支給します！）

- a) コースレッド L=38 mm を使用
現在のところ、スクリュー釘は禁止とします。
- b) 専用コースレッドは、より良いものを選別して使用していきます。

7

取合い部のレベルが 5 mm を超える場合は、必ず監督官に相談してください！

- * 善意で無断でレベル調整しても、後から責任を問われます。

最重要！

8

パーティクルの目地は、『隙間ゲージ』を作って、目地をそろえて下さい。

- パーティクル ⇒ 15 mm 目地
OAS ⇒ 8 mm 目地



9

パーティクルボードは、見ただけで200 mm 以下のものを使用してはいけません！（ベニヤ及びユカボーTGIは、100 mm 以上のものを使用して下さい。）

200 mm 以下の端材が入る場合は、張終いの一枚手前で調整を行って、200 mm 以上のパネルを使用して下さい。

調整パネル →



10

レベル調整後、各自で自主検査を行って下さい！

- a) **ウレタンボンドを注入する前に**、パネルの上を歩いて浮きがないか確認をお願いします。



支持脚の上を歩いて、他よりやわらかく感じたら、浮いている可能性があります。

11

パーティクルと捨貼り材の各ジョイントは、100 mm 以上離してください！



12

ユカボー T Gは石膏系の制振材のため、比重が高く非常に硬い素材です。

- a) 釘は、専用釘(ブルーコート) $t=27\text{mm}$ を使用して下さい。 * 支給品です。
端を固定する場合、端から20 mm 程度離して釘打ちを行って下さい。
割れてくる恐れがありますので、十分な注意が必要です。

13

材料の呼び方を覚えましょう！

- 材料の注文は、必ず『品番』で！！

材料は、ボルトの長さではなく品番で打合せします。
ちなみに、YP-130のボルトの長さは90 mm で、130 mm ではありません！

14

ベニヤ t =5.5は、ステープルの 719^{ミリ}を使用

- a) 電動工具の買い替えの際には、719^{ミリ}用ガンを購入して下さい。
- b) ブルーコート使用の場合は、周囲 150ピッチ 内側 200ピッチ程度で固定して下さい。

15

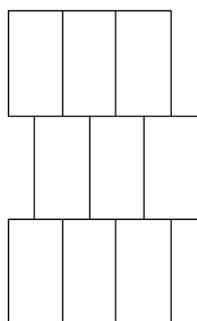
塩ビタイルや長尺シート等の下地ベニヤの貼り方について ***最重要！**

- a) ベニヤのジョイントは、出来るだけ化粧台等の下端に持っていき、ジョイントは**真物どうしの突付**とします。
- b) ソフト巾木との取合い部の目地は、巾木で隠れる程度の**1~2^{ミリ}程度**とします。
- c) 入口枠取合い部については、**竿下端をカット**してベニヤを飲み込みとするのが望ましいが、カット出来ない場合は **1~2^{ミリ}程度**の目地とします。
- d) 釘・ステープルの浮きがないか？、段差がないか？ **張り上り後に自主検査**を行うこと。 **段差が0,5^{ミリ}以上ある場合、ペーパー掛け**を行うこと。
- e) CFシートの場合は特に貼り方に注意が必要です。
- f) 出隅などでベニヤをカットする場合、ベニヤの切り口は最低限にお願いします。

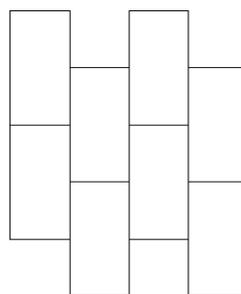
16

構造用合板及びベニヤの貼り方

- a) 構造用合板及びベニヤは、基本的にパーティクルと直行して貼ること。レンガ貼または千鳥貼りを基本として、構造用合板またはベニヤの目地が縦・横一緒に揃う貼り方はやめること。



レンガ貼



千鳥貼

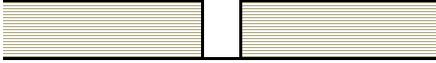
17

万協フロアー仕様の現場での変更について

- a) 各部所の納まりについて、皆さんの長年の経験と知識を生かして頂き、床鳴り等のクレームが無いよう施工して頂ければと思います。

付 録

— 各部材の間隙 —

	同材のジョイント	壁との取合い
パーティクル	15 ^{mm} 	5~15 ^{mm} 
ベニヤ	突付 	仕上下 2~3 ^{mm} フローア-下 3~5 ^{mm} 
制振シート	突付 	3~5 ^{mm} 

作成日 2007年9月5日

改訂日 2010年2月28日

株式会社 ケーワンシステム

